

復興金融ネットワークメンバーによる復興に関する取組事例

団体名	盛岡信用金庫	
取組名称	ファンドによる起業支援の取組み	
取組概要	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【背景と経緯】 当金庫において、営業エリアの人口減少、事業所数の減少による地域経済への影響は深刻でした。また、東日本大震災をきっかけに、沿岸部から内陸部へ人の移動が起こり、中でも技術力や経験豊富な人材が、内陸部である盛岡市近隣市町村で起業することが予想されました。そのことは地域にとって大きなプラスではありますが、融資による支援に限界を感じていた当金庫は、資本性の資金を提供することで起業支援が可能では、との考えを持ちファンド設立を決定しました。</p> <p>【具体的な取組内容】 平成24年8月にFVC(株)(現・FVC Tohoku(株))、当金庫、盛岡市、滝沢村(現・滝沢市)が直接出資の地域ファンドを設立し、平成25年6月には矢巾町、紫波町も出資参加しました。 投資対象は、当金庫営業エリア内の19市町村に本社を置く、原則として会社設立から5年以内の企業とし、第二創業等も対象とします。投資額は1社あたり最大5百万円です。</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>【ファンドスキーム図】</p> <p>The diagram illustrates the fund's structure and operations. At the top, two boxes represent investment sources: '株式と新株予約権付社債を併用した投資 (ミドルリスク・ミドルリターン)' and 'IPO (株式上場) を前提としないEIT (経営陣や第三者への譲渡)'. These lead to '盛岡広域の企業(起業家) (岩手県北地域含む)'. A central box is 'もりおか 起業ファンド'. Below it, a red dashed box contains '有限責任組合員' (Limited Liability Members), including '盛岡市', '滝沢市', '矢巾町', '紫波町', and '盛岡信用金庫'. To the right, 'FVC Tohoku (無限責任組合員)' (Infinite Liability Member) is shown. Arrows indicate '管理・運営・出資' (Management, Operation, Investment) from FVC Tohoku to the fund, and '管理報酬 成功報酬 分配金' (Management Fee, Success Fee, Distribution) from the fund to FVC Tohoku. From the fund, '分配金' (Distribution) goes to the limited liability members, and '出資' (Investment) goes to the target companies. An 'アドバイザー' (Advisor) box, including '盛岡市 インキュベーション マネージャー他' (Morioka Incubation Manager etc.), provides '審査・助言' (Review/Advice) to the fund. A box for 'インキュベーション施設や金融機関とも案件について情報交換' (Information exchange on cases with incubation facilities and financial institutions) is also present.</p> </div> </div>	
取組成果	○ファンド総額 100百万円 ○投資実績(令和元年12月現在) 投資実行累計 13社、43.5百万円 平成25年3月に、東北財務局長から平成24年度地域密着型金融に関する優れた取組みとして、顕彰をいただいております。また、平成26年6月、一般社団法人全国信用金庫協会が主催する第17回「信用金庫社会貢献賞」において、本取組みが評価され『地域活性化しんきん運動・優秀賞』を受賞いたしました。	
その他	「復興金融事例集」掲載事例です。	
URL等	当金庫HP該当ページURL http://www.morishin.co.jp/chiiki/index.php?id=kigyofund	